

北海道厚生局長 殿

北海道公立大学法人札幌医科大学
理事長 島本和明

札幌医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	35.7	人
--------	------	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	242人	243人	435.2人	看護補助者	6人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	10人	13人	20.0人	理学療法士	21人	臨床検査技師	58人
薬剤師	39人	0人	39.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助産師	28人	1人	28.9人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	709人	71人	773.3人	臨床工学技士	16人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	2人	3人	4.8人	栄養士	0人	その他の技術員	9人
歯科衛生士	4人	0人	4.0人	歯科技工士	3人	事務職員	111人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	48人	その他の職員	39人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	722.6 人	27.5 人	750.1 人
1日当たり平均外来患者数	1528.2 人	85.0 人	1613.3 人
1日当たり平均調剤数	1377.5 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
硬膜外自家血注入療法	0人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髓微小残存病変(MRD)量の測定	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ボルテゾミブ静脈内投与、メルファラン経口投与及びデキサメタゾン経口投与の併用療法 原発性ALアミロイドーシス	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	166人	・膿疱性乾癬	7人
・多発性硬化症	215人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	450人	・原発性胆汁性肝硬変	300人
・全身性エリテマトーデス	525人	・重症急性膵炎	35人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	3人
・再生不良性貧血	140人	・混合性結合組織病	72人
・サルコイドーシス	244人	・原発性免疫不全症候群	7人
・筋萎縮性側索硬化症	62人	・特発性間質性肺炎	141人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	456人	・網膜色素変性症	73人
・特発性血小板減少性紫斑病	235人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	39人	・肺動脈性肺高血圧症	48人
・潰瘍性大腸炎	331人	・神経線維腫症	16人
・大動脈炎症候群	66人	・亜急性硬化性全脳炎	3人
・ビュルガー病	13人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・天疱瘡	76人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	11人
・脊髄小脳変性症	85人	・ライソゾーム病	1人
・クローン病	106人	・副腎白質ジストロフィー	4人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	18人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	37人
・悪性関節リウマチ	19人	・脊髄性筋萎縮症	12人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	341人	・球脊髄性筋萎縮症	4人
・アミロイドーシス	38人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	64人
・後縦靭帯骨化症	49人	・肥大型心筋症	171人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	16人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	27人	・リンパ管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	111人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	43人	・黄色靭帯骨化症	6人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	186人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 胎児心エコー法	・
・ HPV核酸検出	・
・ 腹腔鏡下肝切除術	・
・ 膀胱水圧拡張術	・
・ 強度変調放射線治療	・
・ センチネルリンパ節生検(併用法)	・
・ 悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・
・ 広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・ CT透視下気管支鏡検査加算	・
・ 腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	・
・ 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	40回
部 検 の 状 況	部検症例数 21 例 / 部検率 10.00%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
オール北海道先進医学・医療拠点形成	島本 和明		21,250,000	補委 文部科学省
特定健診・保健指導におけるメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出に関する横断・縦断研究	島本 和明		1,150,000	補委 東京大学
消化管癌におけるマイクロRNAおよびエピゲノム異常の解析とその臨床応用	篠村 恭久	内科学第一講座	4,300,000	補委 日本学術振興会
消化管癌の間質エピゲノムからアプローチする癌幹細胞ニッチの病態解明	篠村 恭久	内科学第一講座	1,300,000	補委 日本学術振興会
TNF受容体関連周期性症候群(TRAPS)の病態の解明と診断基準作成に関する研究	高橋 裕樹	内科学第一講座	500,000	補委 九州大学
IgG4関連疾患に関する調査研究	高橋 裕樹	内科学第一講座	2,100,000	補委 京都大学
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	高橋 裕樹	内科学第一講座	250,000	補委 東京大学
ゲノム構造異常とエピゲノム異常の包括的解析に基づく新規骨髄腫治療法の開発	石田 禎夫	内科学第一講座	1,300,000	補委 日本学術振興会
機能性RNA統合解析による日米欧の胃・大腸発癌の分子疫学的解明と臨床応用・癌予防	山本 博幸	内科学第一講座	5,800,000	補委 日本学術振興会
リアルタイム仮想分子生物学による食道癌の内視鏡分子イメージング診断法の開発	山本 博幸	内科学第一講座	1,300,000	補委 日本学術振興会
肝細胞癌に対する三重特異性ヒト型マイクロ抗体を用いた治療法の開発	佐々木 茂	内科学第一講座	2,500,000	補委 日本学術振興会
炎症性腸疾患に対する献体の未固定標本を活用した骨髄間葉系幹細胞治療の前臨床試験	山下 健太郎	内科学第一講座	1,300,000	補委 日本学術振興会
エピゲノムのアプローチによる未分化型胃癌の早期診断体系の構築	山本 英一郎	内科学第一講座	900,000	補委 日本学術振興会
消化器癌の遺伝子異常の網羅的探索とそれらをターゲットにした標的治療の臨床への応用	能正 勝彦	内科学第一講座	1,500,000	補委 日本学術振興会
ミトコンドリア透過性遷移孔を制御する蛋白キナーゼ系の解明	三浦 哲嗣	内科学第二講座	900,000	補委 日本学術振興会
蛋白脱アセチル化酵素SIRT1の核移行誘導による心不全治療の開発	丹野 雅也	内科学第二講座	1,100,000	補委 日本学術振興会
血管内皮機能と血圧制御における脂肪酸結合タンパクの役割解明	古橋 真人	内科学第二講座	900,000	補委 日本学術振興会
肺コレクチンが有する急性肺障害制御機能の臨床応用化への橋渡し	高橋 弘毅	内科学第三講座	900,000	補委 日本学術振興会
びまん性肺疾患に関する調査研究	高橋 弘毅	内科学第三講座	700,000	補委 自治医科大学
肺サーファクタント蛋白質Aによる非感染性肺障害の炎症制御	黒沼 幸治	内科学第三講座	1,300,000	補委 日本学術振興会
腫瘍細胞指向性の新規超音波造影剤を用いた肺癌診断法の開発	加藤 淳二	内科学第四講座	2,000,000	補委 日本学術振興会

小計21件

MDS進展における酸化的DNA傷害の意義とその修復を目論んだ鉄キレート療法の確立	小船 雅義	内科学第四講座	1,400,000	補委	日本学術振興会
急性骨髄性白血病に対する新規ミサイル療法の開発	瀧本 理修	内科学第四講座	2,900,000	補委	日本学術振興会
STn synthaseを標的とした転移性胃癌に対する新規治療法の開発	佐藤 康史	内科学第四講座	1,600,000	補委	日本学術振興会
フリーラジカルおよび酸化的DNA損傷修復遺伝子MUTYHを介した肝発癌機序の解明	宮西 浩嗣	内科学第四講座	2,300,000	補委	日本学術振興会
mTORを標的としたオートファジー誘導型の新しいB細胞リンパ腫治療法の開発	佐藤 勉	内科学第四講座	700,000	補委	日本学術振興会
EUS-FNAで採取した分枝肺管型I PMNの囊胞内溶液のプロテオーム解析	林 毅	内科学第四講座	900,000	補委	日本学術振興会
BCL9/βカテニン転写複合体を標的とした新規抗大腸癌ペプチドの臨床応用	高田 弘一	内科学第四講座	1,200,000	補委	日本学術振興会
HHIP KOストローマ細胞を用いたドナー由来リンパ球インビトロ増幅法の開発	井山 諭	内科学第四講座	2,100,000	補委	日本学術振興会
慢性移植片対宿主病における調節性T細胞のBH3プロファイリング	河野 豊	内科学第四講座	1,200,000	補委	日本学術振興会
神経変性疾患に対する骨髄幹細胞移植による新規治療法開発の基礎研究	下濱 俊	神経内科学講座	3,400,000	補委	日本学術振興会
インビトロ血液脳関門システム構築による虚血性脳細胞傷害の病態解析	下濱 俊	神経内科学講座	1,100,000	補委	日本学術振興会
重症筋無力症における興奮収縮連関障害の解明	今井 富裕	神経内科学講座	900,000	補委	日本学術振興会
脳卒中医療と福祉従事者への卒前・卒後教育の地域間格差を克服する生涯教育の開発	齊藤 正樹	神経内科学講座	700,000	補委	日本学術振興会
幹細胞を中心とした細胞供給システムの解明	鈴木 秀一郎	神経内科学講座	800,000	補委	日本学術振興会
神経変性疾患モデルにおける神経免疫システムの解析と治療応用の検討	松村 晃寛	神経内科学講座	1,000,000	補委	日本学術振興会
肝修復・肝再生における肝組織幹細胞の臨床的・基礎的役割に関する基礎的研究	平田 公一	外科学第一講座	2,900,000	補委	日本学術振興会
膵がんに対するがん幹細胞標的ペプチドワクチン療法の開発	平田 公一	外科学第一講座	900,000	補委	日本学術振興会
がん登録からみたがん診療ガイドラインの普及効果に関する研究-診療動向と治療成績の変化-	平田 公一	外科学第一講座	20,261,000	補委	厚生労働省
国民に役立つ情報提供のためのがん情報データベースや医療機関データベースの質の向上に関する研究	平田 公一	外科学第一講座	4,500,000	補委	独立行政法人 国立がん研究センター
癌幹細胞を制御する転写因子を標的とした難治性乳癌治療法の開発	平田 公一	外科学第一講座	5,000,000	補委	東京大学
大腸癌間質に着目した再発リスクに関わるバイオマーカーの探索	古畑 智久	外科学第一講座	1,600,000	補委	日本学術振興会
超冷却プログラムによるヒト小型肝細胞バンクとハイブリットマウス量産に向けた研究	水口 徹	外科学第一講座	1,200,000	補委	日本学術振興会
フロートラックビジリオシステムによる肝切除術中モニタリングの有用性の検討	目黒 誠	外科学第一講座	2,000,000	補委	日本学術振興会
若年女性への「乳がん」教育による意識改革の効果の検討	大村 東生	外科学第一講座	300,000	補委	日本学術振興会

小計24件

幹細胞移植が障害肝および外科侵襲に与える影響に関する研究	中村 幸雄	外科学第一講座	1,200,000	補委	日本学術振興会
熱・振動・圧力低エネルギー複合化による新しい生体組織接合技術の確立	樋上 哲哉	心臓血管外科学講座	600,000	補委	茨城大学
抗血栓性を有する脱細胞化小口径血管の解析と小口径人工血管への応用	船本 誠一	心臓血管外科学講座	1,700,000	補委	日本学術振興会
難治性疼痛の実態の解明と対応策の開発に関する研究	山下 敏彦	整形外科科学講座	500,000	補委	愛知医科大学
骨粗鬆症にともなう慢性疼痛の病態解明	射場 浩介	整形外科科学講座	1,200,000	補委	日本学術振興会
慢性疼痛の多面的評価システムの開発と客観的評価法の確立に対する研	竹林 庸雄	整形外科科学講座	500,000	補委	福島県立医科大学
ロボットシステムを用いた足関節-距骨下関節複合体の生体力学的研究	渡邊 耕太	整形外科科学講座	400,000	補委	日本学術振興会
脳神経外科ナビゲーション手術でのブレインシフト補正ソフトウェアの開発	三國 信啓	脳神経外科学講座	1,600,000	補委	日本学術振興会
脳脊髄液減少症の診断・治療法確立に関する研究	三國 信啓	脳神経外科学講座	700,000	補委	山形大学
骨髄間葉系幹細胞の移植免疫における基礎解析	鰐淵 昌彦	脳神経外科学講座	1,500,000	補委	日本学術振興会
脳梗塞に対する間葉系幹細胞移植におけるガングリオシドの神経再生への関与	三上 毅	脳神経外科学講座	600,000	補委	日本学術振興会
長寿遺伝子サーチュイン制御による脳腫瘍治療の新展開	杉野 寿哉	脳神経外科学講座	1,200,000	補委	日本学術振興会
胎児異常を診断された女性に対する妊娠前から育児期への助産学的アプローチの検討	林 卓宏	産婦人科学講座	100,000	補委	北海道大学
視細胞特異蛋白質リカバリンの癌異所発現がもたらす癌関連網膜症発症機序の解明	大黒 浩	眼科学講座	1,100,000	補委	日本学術振興会
高解像度MRIを用いた視神経疾患における神経内代謝物質の組成解析	橋本 雅人	眼科学講座	1,000,000	補委	日本学術振興会
SIRT1を標的とする新しいメラノーマ治療の展開	山下 利春	皮膚科学講座	900,000	補委	日本学術振興会
線維性皮膚炎における骨髄由来間葉系前駆細胞の分化異常と過剰痕の形成機序	小野 一郎	皮膚科学講座	200,000	補委	東邦大学
メラノサイト・ケラチノサイト共培養系を用いた細胞間メラノソーム転送機構の解析	肥田 時征	皮膚科学講座	1,200,000	補委	日本学術振興会
高悪性度禁層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	塚本 泰司	泌尿器科学講座	7,693,000	補委	厚生労働省
標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	塚本 泰司	泌尿器科学講座	400,000	補委	九州大学
がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動	塚本 泰司	泌尿器科学講座	1,000,000	補委	東京大学
前立腺がん幹細胞の同定と特異的がんワクチン療法の樹立	舛森 直哉	泌尿器科学講座	1,500,000	補委	日本学術振興会
膀胱癌に対する再発予防がんワクチン療法の確立	北村 寛	泌尿器科学講座	1,400,000	補委	日本学術振興会
腎移植拒絶反応におけるHSP90の関与についての研究	田中 俊明	泌尿器科学講座	2,400,000	補委	日本学術振興会

膀胱がんにおける治療標的となり得るがん関連遺伝子の解析および転移予測指標の確立	西山 直隆	泌尿器科学講座	1,600,000	補委	日本学術振興会
前立腺神経内分泌細胞による前立腺癌進展機構の解明	橋本 浩平	泌尿器科学講座	1,700,000	補委	日本学術振興会
尿路におけるサーファクタント蛋白質(SP-A、SP-D)の感染防御機構の解明	栗村 雄一郎	泌尿器科学講座	1,200,000	補委	日本学術振興会
ヒト鼻粘膜における粘膜上皮-免疫細胞相互作用のEPIMMUNOME解析	氷見 徹夫	耳鼻咽喉科学講座	4,900,000	補委	日本学術振興会
III型インターフェロン遺伝子多型解析を用いた上気道疾患制御戦略個別化の試み	氷見 徹夫	耳鼻咽喉科学講座	1,700,000	補委	日本学術振興会
好酸球性副鼻腔炎の診断基準作成と網羅的解析に関する研究	氷見 徹夫	耳鼻咽喉科学講座	400,000	補委	福井大学
ヒト鼻粘膜におけるロイコトリエンE4受容体-PT2Y12受容体の発現と役割	白崎 英明	耳鼻咽喉科学講座	1,500,000	補委	日本学術振興会
上皮細胞極性制御因子とhippo経路を介した咽頭がん浸潤・転移機構の解析	近藤 敦	耳鼻咽喉科学講座	2,000,000	補委	日本学術振興会
粘膜上皮と上皮内樹状細胞およびM細胞の相互作用制御による抗原認識機構の調節	黒瀬 誠	耳鼻咽喉科学講座	2,000,000	補委	日本学術振興会
ヒト鼻粘膜上皮におけるDDSを介する抗原提示細胞の機能解析および分化誘導	郷 充	耳鼻咽喉科学講座	1,200,000	補委	日本学術振興会
濾胞ヘルパーT細胞を介したIgE産生のマスタープランとその抑制経路の研究	関 伸彦	耳鼻咽喉科学講座	1,400,000	補委	日本学術振興会
上気道粘膜上皮におけるウイルス認識受容体を介した生体防御機構の検討	大國 毅	耳鼻咽喉科学講座	1,200,000	補委	日本学術振興会
わが国における飲酒の実態把握およびアルコールに関連する生活習慣病とその対策に関する総合的研究	齋藤 利和	神経精神医学講座	900,000	補委	独立行政法人 国立病院機構久里浜医療センター
脳を育てるうつ病治療:中枢-末梢両面からの脳神経回路網修復促進機構の解明	橋本 恵理	神経精神医学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会
統合失調症の社会機能回復-薬物・細胞併用療法は言語・共感性の脳回路を修復するか-	鶴飼 涉	神経精神医学講座	1,200,000	補委	日本学術振興会
双極性障害の原因神経回路の解明	鶴飼 涉	神経精神医学講座	4,950,000	補委	理化学研究所
双極性障害の原因神経回路の解明	鶴飼 涉	神経精神医学講座	550,000	補委	理化学研究所
顆粒球コロニー刺激因子による精神疾患への細胞治療の開発	吉永 敏弘	神経精神医学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会
広汎性発達障害におけるメタボリック症候群予測マーカーの探索	館農 勝	神経精神医学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会
インターフェロン誘発性うつ病の病態解明-末梢血の神経栄養因子の役割に着目して-	渡邊 公彦	神経精神医学講座	1,600,000	補委	日本学術振興会
早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立と適応決定に関する研究	晴山 雅人	放射線医学講座	300,000	補委	東北大学
早期に臨床応用が可能な放射線増感剤の研究	坂田 耕一	放射線医学講座	1,800,000	補委	日本学術振興会
分子生物学的マーカーを用いた前立腺癌放射線治療後の有害事象予測	染谷 正則	放射線医学講座	1,400,000	補委	日本学術振興会
頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究	中田 健生	放射線医学講座	200,000	補委	近畿大学

視床皮質ニューロンのトランスクリプトーム解析による吸入麻酔薬の作用機序の解明	山蔭 道明	麻酔科学講座	4,000,000	補委	日本学術振興会
神経ブロックの効果と解剖学的検討	山内 正憲	麻酔科学講座	1,900,000	補委	日本学術振興会
オピオイド鎮痛薬を使用している難治性非癌性疼痛患者の慢性疼痛との共存の過程	山内 正憲	麻酔科学講座	100,000	補委	北海道大学
神経障害性疼痛における骨髄由来ミクログリアを介した治療戦略	新山 幸俊	麻酔科学講座	1,500,000	補委	日本学術振興会
亜硝酸塩ポストコンディショニングによる心筋保護作用とその分子機序の解明	平田 直之	麻酔科学講座	2,700,000	補委	日本学術振興会
TACR1遺伝子エピジェネティック修飾解析を用いた麻薬による嘔吐発症機序の解明	杉野 繁一	麻酔科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会
肺血症時の神経筋伝達能に関する病態生理の解明と有効な治療法の確立	新谷 知久	麻酔科学講座	900,000	補委	日本学術振興会
GABA受容体β3遺伝子多型解析によるプロポフォール作用機序の解明	名和 由布子	麻酔科学講座	600,000	補委	日本学術振興会
エピゲノム網羅関連解析による術後悪心嘔吐の性差の機序解明	早瀬 知	麻酔科学講座	1,200,000	補委	日本学術振興会
抗IAP抗体スクリーニングアレイを用いた癌診断法の構築	渡邊 直樹	臨床検査医学講座	7,500,000	補委	日本学術振興会
自己抗体の発現パターンによる骨髄不全症候群の病型分類	栗林 景晶	臨床検査医学講座	1,200,000	補委	日本学術振興会
肺癌における幹細胞複製分子の発現解析と新規治療標的への応用	小林 大介	臨床検査医学講座	1,700,000	補委	日本学術振興会
NADPHオキシターゼとスタニオカルシンを用いた乳癌の新規転移マーカーの開発	田中 真樹	臨床検査医学講座	2,100,000	補委	日本学術振興会
有機リン中毒性痙攣に対するアトロピンおよびプラリドキシムの治療効果の実験的検証	成松 英智	救急医学講座	500,000	補委	日本学術振興会
口腔がんにおけるβカテニン遺伝子異常の解析とがん治療への応用	平塚 博義	口腔外科学講座	4,300,000	補委	日本学術振興会
口腔のがん幹細胞を標的とした新規がんワクチン開発	平塚 博義	口腔外科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会
口腔がんに対するがんペプチドワクチン療法の開発	宮崎 晃亘	口腔外科学講座	700,000	補委	日本学術振興会
口腔癌におけるDKK遺伝子の発現解析と分子標的の開発	曾我部 陽平	口腔外科学講座	1,500,000	補委	日本学術振興会
外傷性脳損傷者の復職指導に関する研究-「職業の認知的要求尺度」作成の試み-	石合 純夫	リハビリテーション医学講座	500,000	補委	日本学術振興会
都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応	石合 純夫	リハビリテーション医学	2,000,000	補委	筑波大学
介護家族と介護職における主観的ウェルビーイングの向上をめざす心理介入的アプローチ	本間 真理	リハビリテーション医学	300,000	補委	北翔大学
klothoマウスを用いたヒト老化皮膚潰瘍モデルによる治癒遅延メカニズムの解明	山下 建	形成外科学	1,000,000	補委	日本学術振興会
拡散テンソル画像による神経筋疾患の非侵襲的病勢評価方法	島中 正光	放射線診断学	700,000	補委	日本学術振興会
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	和田 卓郎	道民医療推進学講座	160,000	補委	九州大学

小計24件

再生医療技術を応用した四肢の拘縮性偽関節の治療に関する研究	和田 卓郎	道民医療推進学講座	50,000	補委	奈良県立医科大学
遺伝子多型解析に因る乳癌ホルモン療法の有効性及び副作用予測診断システムの確立	前佛 均	道民医療推進学講座	14,231,000	補委	厚生労働省
癌幹細胞を制御する転写因子を標的とした難治性乳癌治療法の開発	前佛 均	道民医療推進学講座	7,000,000	補委	東京大学
ゲノム情報に基づく乳癌内分泌療法反応性関連遺伝子の固定及びタンパク機能解析	前佛 均	道民医療推進学講座	4,500,000	補委	日本学術振興会
三重特異性抗体を用いた多発性骨髄腫に対する新領域抗体療法の開発	安井 寛	道民医療推進学講座	1,600,000	補委	日本学術振興会
骨髄微小環境における骨髄腫細胞と単球及び膀胱ストローマの細胞との相互作用の解析	池田 博	道民医療推進学講座	1,100,000	補委	日本学術振興会
新規バイオマーカー探索としての大腸癌・大腸锯齿状病変のゲノムワイドDNAメチル化とmicroRNA発現異常の網羅的解析	能正 勝彦	内科学第一講座	740,000	補委	科学技術振興機構
平成24年度農林水産省委託事業	齋藤 重幸	内科学第二講座	7,000,000	補委	京都府立医科大学
膀胱癌細胞指向性を高めた超音波造影ナノパーティクルの開発	加藤淳二	内科学第四講座	1,000,000	補委	科学技術振興機構
肉腫及び膠芽腫等の難治性がんに対する(個別化)がんワクチン療法の確立	平田公一	外科学第一講座	500,000	補委	独立行政法人国立がん研究センター
低侵襲循環器治療の開発に関する研究	川原田 修義	心臓血管外科学講座	1,000,000	補委	独立行政法人国立循環器病研究センター
平成24年度子ども健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)	遠藤 俊明	産婦人科学講座	1,742,055	補委	北海道大学
希少悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同試験	塚本泰司	泌尿器科学講座	500,000	補委	独立行政法人国立がん研究センター
アルコールを含めた物質依存に対する病態解明及び心理社会的治療法の開発に関する研究	齋藤利和	精神神経医学講座	942,330	補委	独立行政法人国立精神・神経センター
病理診断の均てん化と質的向上のための基盤・新規技術開発に関する研究	長谷川匠	病理診断学	1,200,000	補委	独立行政法人国立がん研究センター
肉腫の本態解明、バイオマーカー開発、創薬標的探索に向けた基盤的研究	和田卓郎	道民医療推進学講座	750,000	補委	独立行政法人国立がん研究センター
肉腫及び膠芽腫等の難治性がんに対する(個別化)がんワクチン療法の確立	和田卓郎	道民医療推進学講座	500,000	補委	独立行政法人国立がん研究センター

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計17件
計134件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Sci	Insulin-like growth factor receptor expression is associated with aggressive phenotypes and has therapeutic activity in biliary tract cancers.	Yasuhisa Shinomura	第一内科
Cancer Res	Upregulation of miR-196a and HOTAIR drive malignant character in gastrointestinal stromal tumors.	Yasuhisa Shinomura	第一内科
Am J Gastroenterol	A novel pit pattern identifies the precursor of colorectal cancer derived from sessile serrated adenoma.	Eiichiro Yamamoto	第一内科
Mod Rheumatol	Risk of malignancies in IgG4-related disease.	Motohisa Yamamoto	第一内科
J Autoimmun	The immunobiology and clinical characteristics of IgG4-related diseases.	Hiroki Takahashi	第一内科
Ann Rheum Dis	Relapse patterns in IgG4-related disease.	Motohisa Yamamoto	第一内科
Cancer Prev Res	Aberrant methylation of RASGRF1 is associated with an epigenetic field defect and increased risk of gastric cancer.	Yasuhisa Shinomura	第一内科
Tumour Biol	Genome-wide analysis of DNA methylation identifies novel cancer-related genes in hepatocellular carcinoma.	Yasuhisa Shinomura	第一内科
Am J Pathol	Molecular dissection of premalignant colorectal lesions reveals early onset of the CpG island methylator phenotype.	Eiichiro Yamamoto	第一内科
World J Gastroenterol	Alterations in the human epidermal growth factor receptor 2-phosphatidylinositol 3-kinase-v-Akt pathway in gastric cancer.	Yasuhisa Shinomura	第一内科
Genome Med	Genomic vulnerability to LINE-1 hypomethylation is a potential determinant of the clinicogenetic features of multiple myeloma.	Yasuhisa Shinomura	第一内科
Int J Rheumatol	Evaluation and clinical validity of a new questionnaire for Mikulicz's disease.	Motohisa Yamamoto	第一内科

小計12

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Rheumatol	Cutoff values of serum IgG4 and histopathological IgG4+plasma cells for diagnosis of patients with IgG4-related disease.	Yasuhisa Shinomura	第一内科
Gastroenterol	Unusual thyroid tumors in a young woman.	Kentaro Yamashita	第一内科
Cardiovasc Res 2012;94:181-9.	The mPTP and its regulatory proteins: final common targets of signalling pathways for protection against necrosis.	Miura T	第二内科
FASEB J. 2012;26:1559-68.	Fusion of bone marrow-derived cells with renal tubules contributes to renal dysfunction in diabetic nephropathy.	Yamashita T	第二内科
Heart Fail Rev. 2013;18:149-66.	Diabetic cardiomyopathy: pathophysiology and clinical features.	Miki T	第二内科
J Nucl Med. 2012;53:731-40.	Cardiac mortality assessment improved by evaluation of cardiac sympathetic nerve activity in combination with hemoglobin and kidney function in chronic heart failure patients.	Doi T	第二内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2012;302:2536-44.	Role of connexin-43 in protective PI3K-Akt-GSK-3 β signaling in cardiomyocytes.	Ishikawa S	第二内科
Basic Res Cardiol. 2012;107:273.	Emerging beneficial roles of sirtuins in heart failure.	Tanno M	第二内科
Cardiovasc Diabetol. 2012;11:67	Effects of diabetes on myocardial infarct size and cardioprotection by preconditioning and postconditioning.	Miki T	第二内科
Am J Hypertens. 2012;25:1124-30.	Elevation of fatty acid-binding protein 4 is predisposed by family history of hypertension and contributes to blood pressure elevation.	Ota H	第二内科
PLoS One. 2012;7:39893.	Role of ER stress in ventricular contractile dysfunction in type 2 diabetes.	Takada A	第二内科
Hypertension. 2012;60:1124-30.	Effects of parental hypertension on longitudinal trends in blood pressure and plasma metabolic profile: mixed-effects model analysis.	Mitsumata K	第二内科
J Mol Cell Cardiol. 2012;53:870-9.	Cytoprotective regulation of the mitochondrial permeability transition pore is impaired in type 2 diabetic Goto-Kakizaki rat hearts.	Itoh T	第二内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Am Soc Echocardiogr. 2013;26:165-74.	Assessment of left atrial deformation and synchrony by three-dimensional speckle-tracking echocardiography: comparative studies in healthy subjects and patients with atrial fibrillation.	Mochizuki A	第二内科
Open Respir Med 6, 2012	Classification of Centrilobular Emphysema Based on CT-Pathologic Correlations.	Takahashi M	第三内科
Respirology 17, 2012	Efficacy of inhaled N-acetylcysteine monotherapy in patients with early stage idiopathic pulmonary fibrosis.	Takahashi H	第三内科
J Bronchology Interv Pulmonol 19, 2012	Bronchoscopic observation of endobronchial tumor cells.	Kitamura Y	第三内科
Cancer Sci 104, 2013	Detection of N-glycolyated gangliosides in non-small-cell lung cancer using GMR8 monoclonal antibody.	Hayashi N	第三内科
Respir Investig 51, 2013	A nationwide epidemiological survey of chronic hypersensitivity pneumonitis in Japan.	Takahashi H	第三内科
Open Respir Med 7, 2013	Computed tomography-based centrilobular emphysema subtypes relate with pulmonary function.	Takahashi M	第三内科
Cancer Chemother Pharmacol 2013, Jan 22. [Epub ahead of print]	A phase II study of neoadjuvant combination chemotherapy with docetaxel, cisplatin, and S-1 for locally advanced resectable gastric cancer: nucleotide excision repair (NER) as potential chemoresistance marker.	平川 昌宏	第四内科
J Gastroenterol. 2013 Jan 19. [Epub ahead of print]	Increased hepatic oxidative DNA damage in patients with nonalcoholic steatohepatitis who develop hepatocellular carcinoma.	田中 信悟	第四内科
J Gastroenterol Hepatol. 2013 Apr;28(4):656-63.	Rapid on-site evaluation by endosonographer during endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration for pancreatic solid masses.	林 毅	第四内科
Gastric Cancer. 2012 Nov 29. [Epub ahead of print]	Diagnostic validity of CT gastrography versus gastroscopy for primary lesions in gastric cancer: evaluating the response to chemotherapy, a retrospective analysis.	高橋 祥	第四内科
Gut. 2012 Nov 20. [Epub ahead of print]	Treatment of pancreatic fibrosis with siRNA against a collagen-specific chaperone in vitamin A-coupled liposomes.	石渡 裕俊	第四内科
Blood Cancer J. 2012 Sep 7;2:e87.	Stromal cells expressing hedgehog-interacting protein regulate the proliferation of myeloid neoplasms.	小船 雅義	第四内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Sci Transl Med 2012, 4(148):148ra117	Targeted Disruption of the BCL9/ β -catenin Complex Inhibits Oncogenic Wnt Signaling.	高田 弘一	第四内科
Int Canc Conf J 2012, 1;220-3	UGT1A1*28 and *6 polymorphisms and nilotinib-induced unconjugated hyperbilirubinemia in a Japanese patient with chronic myelogenous leukemia.	高田 弘一	第四内科
PLoS One 2012; 7(7):e39545	Targeting anticancer drug delivery to pancreatic cancer cells using a fucose-bound nanoparticle approach	吉田 真誠	第四内科
Intern Med 2012;51(15):2011-4	Successful treatment by fibrin glue sealant for pneumothorax with chronic GVHD resistant to autologous blood patch pleurodesis	井山 諭	第四内科
Blood Coagul Fibrinolysis 2012;23(6):548-50	Intermittent administration of recombinant human soluble thrombomodulin successfully controlled chronic disseminated intravascular coagulation in a patient with dissecting aortic aneurysm on an outpatient basis	井山 諭	第四内科
Free Radic Biol Med 2012;53(4):643-8	Improvement of iron-mediated oxidative DNA damage in patients with transfusion-dependent myelodysplastic syndrome by treatment with deferasirox	菊地尚平	第四内科
Int J Hematol 2012;95(5):527-34	Prognostic significance of serum ferritin level at diagnosis in myelodysplastic syndrome	菊地尚平	第四内科
Int J Clin Oncol. 2012 Oct;17(5):491-7.	A phase I trial of arterial infusion chemotherapy with gemcitabine and 5-fluorouracil for unresectable biliary tract cancer	林 毅	第四内科
肝臓 2012, 53(10), 615-623	非アルコール性脂肪性肝炎に細胆管癌と肝細胞癌を合併した1例	河野 豊	第四内科
J Neurosci Res	3-[(2,4-Dimethoxy)benzylidene]-anabaseine dihydrochloride protects against 6-hydroxydopamine-induced parkinsonian neurodegeneration through $\alpha 7$ nicotinic acetylcholine receptor stimulation in rats.	鈴木秀一郎	神経内科
Clin Neurophysiol.	Early effect of tacrolimus in improving excitation-contraction coupling in myasthenia gravis.	今井富裕	神経内科
Curr Drug Targets.	$\alpha 7$ nicotinic acetylcholine receptor mediated neuroprotection in Parkinson's disease.	川又 純	神経内科
Clin Neurophysiol	Contribution of anti-ryanodine receptor antibody to impairment of excitation-contraction coupling in myasthenia gravis.	今井富裕	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Medical Practice	急性膵炎-新しい重症度判定と治療の実際-	平田 公一	第一外科
外科	特集:外科救急-実際の手順を追う II. 肝・胆・膵 3. 急性膵炎	平田 公一	第一外科
診療ガイドラインUP-TO-DATE2012-2013	VIII-6 急性膵炎	平田 公一	第一外科
消化器外科	膵癌	平田 公一	第一外科
Surgery Frontier	epithelial-mesenchymal transition(EMT)とは	平田 公一	第一外科
Surgery Frontier	がん登録を指標とした「がん診療ガイドライン」の普及と評価をめざして	平田 公一	第一外科
The Word on Digestive Surgery	肝硬変患者における集中治療	平田 公一	第一外科
Digestive Surgery	術前補助治療施行中の膵癌患者における胆道減圧に対する自己拡張型メタルステントの有効性と安全性(日本語訳).	平田 公一	第一外科
厚生労働科学研究費補助金「がん登録からみた診療ガイドラインの普及効果に関する研究-診療動向と治療成績の変化-	がん登録からみた診療ガイドラインの普及効果に関する研究-診療動向と治療成績の変化-	平田 公一	第一外科
日本外科学会雑誌	診療ガイドラインの問題点と将来 欧米におけるがん診療ガイドライン	古畑 智久	第一外科
今日の臨床サポート	腸閉塞	古畑 智久	第一外科
Hepatogastroenterology	Serum antithrombin III level is well correlated with multiple indicators for assessment of liver function and diagnostic accuracy for predicting postoperative liver failure in hepatocellular carcinoma patients.	Mizuguchi T	第一外科
Surg Today.	Preoperative liver function assessments to estimate the prognosis and safety of liver resections.	Mizuguchi T	第一外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
World J Surg	Prognosis and Predictors of Surgical Complications in Hepatocellular Carcinoma Patients With or Without Cirrhosis after Hepatectomy.	Mizuguchi T	第一外科
Surg Laparosc Endosc Percutan Tech	New technique of extracorporeal hepatic inflow control for pure laparoscopic liver resection.	Mizuguchi T	第一外科
The branched chain amino acids in health and disease	Role of Branched Chain Amino Acids in Cellular and Organ Damage: The prognostic significance of the preoperative branched chain amino acid to tyrosine ratio	Mizuguchi T	第一外科
消化器外科	肝離断に用いるエネルギーデバイスの選択	水口 徹	第一外科
Surgery Frontier	脂肪組織炎症	水口 徹	第一外科
侵襲と免疫	肝不全に対する再生医療	水口 徹	第一外科
北海道外科雑誌	腹腔鏡下肝切除術の実際と現状	水口 徹	第一外科
日本外科感染症学会雑誌	再々肝切除術後の中結腸動脈瘤破裂をきたし、後腹膜膿瘍形成を認め胸腔内にも穿破した忘れることのできない1例	水口 徹	第一外科
日本臨床外科学会雑誌	天蓋切除術を施行したCA19-9高値脾嚢胞(径12cm)の1例	水口 徹	第一外科
日本腹部救急医学会雑誌	特集:“急性胆管炎・胆嚢炎・急性膵炎のガイドライン”の検証と普及. 2. 急性膵炎の診断、重症度、搬送基準について	木村 康利	第一外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci.	TG13 current terminology, etiology, and epidemiology of acute cholangitis and cholecystitis.	Kimura Y	第一外科
胃ろう(PEG)管理 Q&A	半固形化栄養剤を用いたPEG管理	信岡 隆幸	第一外科
消化器外科	中心静脈路確保	信岡 隆幸	第一外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
北海道外科雑誌	機能温存手術の適応と限界 胃癌に対する機能温存手術の適応と限界	信岡 隆幸	第一外科
Pharmacogenomics	Comment on: Prediction of tumor response to chemoradiotherapy by genetic profile in rectal cancer patients.	Zembutsu H	第一外科
胆と膵	ゲノムワイド関連解析によるジェムシタビン副作用関連遺伝子の同定	前佛 均	第一外科
Surgery Frontier	副作用-ゲノムワイド関連解析によるジェムシタビン副作用関連遺伝子の同定	前佛 均	第一外科
J Cancer Therapy	Clinicopathological characteristics of basal type breast cancer in triple-negative breast cancer.	Kutomi G	第一外科
外科	胸筋温存乳房切除術	九富 五郎	第一外科
日本臨床	外科治療の変遷と展望	九富 五郎	第一外科
日本臨床	色素法単独によるセンチネルリンパ節生検	九富 五郎	第一外科
侵襲と免疫	ショック治療におけるイノベーション 臓器障害に対する低侵襲モニタリングの有用性	目黒 誠	第一外科
日本Shock学会雑誌	肝切除術中FloTrac/Vigileoモニタリングの有用性について 肝切除術後肝障害予測の可能性も含めて	目黒 誠	第一外科
外科治療	膵癌の治療の実際: 膵体尾部癌に対する腹腔鏡下手術の手法	今村 将史	第一外科
大腸癌FRONTIER	Q and Aで綴るレジデントノート「抗がん薬治療のときに用いる制吐薬には色々種類がありますが、どの様に使い分けたいのでしょうか？」	沖田 憲司	第一外科
消化器外科	開腹手術後の腸管癒着障害	沖田 憲司	第一外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
G.I. Research	がんワクチン療法における抗腫瘍免疫	久木田和晴	第一外科
Surg Frontier	低酸素環境と腫瘍免疫応答	久木田和晴	第一外科
癌と化学療法(癌免疫外科研究会奨励賞)	Human Endoplasmic Reticulum Oxidoreductin 1-Like α (hERO1-L α) の MHC class I 分子発現制御と癌免疫療法に対する効果予測因子としての可能性	久木田和晴	第一外科
Carcinogenesis	Protein kinase C α inhibitor protects against downregulation of claudin-1 during epithelial-mesenchymal transition of pancreatic cancer	Kyuno D	第一外科
胆膵の病態生理	正常ヒト膵管上皮細胞および膵癌細胞株における PKCシグナルを介したtight junction蛋白の発現調節機構の解明.	及能 大輔	第一外科
Surgery Frontier	EMTと膵癌	及能 大輔	第一外科
成人病と生活習慣病	外痔核の治療	及能 大輔	第一外科
日本医師会雑誌	腹部膨満	及能 大輔	第一外科
Surgical Science, Vol. 3 No. 3, 2012, pp. 136-140.	Video-Assisted Thoracic Surgery as a Less-Invasive Management for Acute Hemothorax in Blunt Trauma	Y. Kurimoto	心臓血管外科
日本血管外科学会雑誌 2012.083;21(5):647-652.	合併症を発生した急性大動脈解離に対する緊急ステントグラフト内挿術の検討	栗本義彦	心臓血管外科
脳外誌 21:604-609, 2012	側頭葉腫瘍性病変によるてんかんの治療方針.	三國信啓	脳神経外科
Neurosurgery 70(1 Suppl Operative): 132-143, 2012.	Trigeminal schwannomas: skull base approaches and operative results in 105 patients.	Wanibuchi, M	脳神経外科
Neurosurg Rev 35:393-400, 2012.	Presurgical planning for arteriovenous malformations using multidetector row CT.	Mikami T	脳神経外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Stroke Cerebrovasc Dis 22: 862-8, 2013	Diagnosis of Moyamoya disease on magnetic resonance imaging: Are flow voids in the basal ganglia an essential criterion for definitive diagnosis?	Mikami T	脳神経外科
Neurosurg Rev 36: 303-8, 2013	Microvascular decompression for hemifacial spasm associated with the vertebral artery.	Mikami T	脳神経外科
Neurol Med Chir 52: 731-735, 2012.	Bumping phenomenon during continuous coagulation with bipolar forceps.	Mikami T	脳神経外科
脳卒中 34:82-88, 2012.	甲状腺機能亢進症に合併した類もやもや病.	三上 毅	脳神経外科
脳卒中の外科 40:45-48, 2012.	幼児期に認められた巨大脳底動脈瘤の1例.	三上 毅	脳神経外科
CI研究 33:167-173, 2012.	Pseudo Continuous ASL (PCASL) 法を用いたCBF評価.	飯星智史	脳神経外科
脳卒中の外科 41: 285-9, 2013.	眼症状で発症したAnterior Condylar Confluenceの1例.	飯星智史	脳神経外科
脳卒中の外科 41: 259-63, 2013.	頸動脈ステント留置術後のステント外残存潰瘍 (Residual Ulceration)に関する研究.	飯星智史	脳神経外科
J Neurosurg Spine 18: 184-8, 2013	Intramedullary spinal cord ganglioglioma presenting as hyperhidrosis: unique symptoms and magnetic resonance imaging findings.	Murakami T	脳神経外科
神経外傷 34:39-45, 2011.	高齢者重症頭部外傷の臨床的特徴と積極的加療における転帰について.	宮田 圭	脳神経外科
Neurosurg Emerg 17: 1-8, 2012.	重症頭部外傷患者の集中治療管理—体温管理下における鎮静鎮痛管理の検討—.	宮田 圭	脳神経外科
Brain Tumor Pathol 30: 61-5, 2013	Primary central nervous system anaplastic large-cell lymphoma mimicking lymphomatosis cerebri.	Sugino T	脳神経外科
J Stroke Cerebrovasc Dis 22: 644-9, 2013	Assessment of moyamoya disease using multidetector row computed tomography.	Sugino T	脳神経外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Stroke Cerebrovasc Dis 22: 644-9, 2013	Arterial Spin-Labeling Magnetic Resonance Imaging after Revascularization of Moyamoya Disease.	Sugino T	脳神経外科
脳卒中の外科 40:89-93, 2012.	もやもや病間接血行再建術における中硬膜動脈の温存方法.	杉野寿哉	脳神経外科
脳外 40:617-621, 2012.	副鼻腔・頭蓋底原発clear cell carcinomaの1例.	鈴木健吾	脳神経外科
Endocr J 59:697-703, 2012	Investigation of iodine deficient state and iodine supplementation in patients with severe motor and intellectual disabilities on long-term total enteral nutrition.	Takeuchi T.	小児科
J Pediatr Hematol Oncol 34:398-401, 2012	Successful treatment of childhood hypocellular acute myeloid leukemia.	Yamamoto M	小児科
Cancer Res 72:4262- 4275, 2012	Dysfunction of nucleus accumbens-1 activates cellular senescence and inhibits tumor cell proliferation and oncogenesis.	Hori T.	小児科
J Med Virol 84:832- 838, 2012	Phylogenetic and computational structural analysis of VP7 gene of group a human rotavirus G1P[8] strains obtained in Sapporo, Japan from 1987 to 2000.	Tsugawa T.	小児科
J Biol Chem 287:12455- 12468.	Autophagosomal membrane serves as platform for intracellular death-inducing signaling complex (iDISC) -mediated caspase-8 activation and apoptosis.	Hori T.	小児科
Biochemical Pharmacology 84:646- 53, 2012.	Research paper: mechanism of putative neo-antigen formation from N-propionyl-4-S-cysteaminyphenol, a tyrosinase substrate, in melanoma models.	Ishii-Osai Y	皮膚科
Cancer Gene Therapy 19: 749-756, 2012.	A novel approach to cancer treatment using structural hybrids of the p53 gene family.	Yamashita T	皮膚科
Microb Drug Resist 19: 48-56, 2012.	Characterization of PVL/ACME-positive methicillin-resistant Staphylococcus aureus (genotypes ST8-MRSA-IV and ST5-MRSA-II) isolated from a university hospital in Japan.	Yamashita T	皮膚科
J Virol 86: 10338-46, 2012.	Imiquimod Suppresses Propagation of Herpes Simplex Virus 1 by Upregulation of Cystatin A via the Adenosine Receptor A1 Pathway.	Kan Y	皮膚科
J Dermatol Sci 67: 51- 60, 2012.	N-propionyl-4-S-cysteaminyphenol induces apoptosis in B16F1 cells and mediates tumor-specific T-cell immune responses in a mouse melanoma model.	Ishii-Osai Y	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur J Dermatol 22: 544-5, 2012.	Etanercept-induced lichen planus-like eruptions following the lines of Blaschko.	Hida T	皮膚科
Asian Pac J Cancer Prev 14:1-4, 2013	Influence of isoflavones intake and equol-producing intestinal flora on prostate cancer risk.	Hida T	皮膚科
J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2012; 65(1):132-4.	Primary reconstruction of the umbilicus, using two rectangular subcutaneous pedicle flaps.	Arai K	形成外科
J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2012; 65(2):149-155.	The reverse superficial temporal artery flap from the preauricular region, for the small facial defects.	Yamauchi M	形成外科
J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2012; 65:252-255.	Nose and upper lip reconstruction for purpura fulminans.	Yamauchi M	形成外科
Ann Vasc Surg. 2012 Apr;26(3):422.e5-8	Combined revascularization and free-tissue transfer for limb salvage in a buerger disease patient.	Ikeda K	形成外科
J Plast Surg Hand Surg. 2012; 46(5):330-4.	Clinical and genetic analysis of microtia in Japan.	Yamauchi M	形成外科
J Bio Chem	Surfactant protein D inhibits adherence of uropathogenic Escherichia coli to the bladder epithelial cells and the bacterium-induced cytotoxicity	Kurimura Y	泌尿器科
J Infect Chemother	Antimicrobial susceptibility and penicillin-binding protein 1 and 2 mutations Nesseria gonorrhoeae isolated from male urethritis in Sapporo, Japan	Takahashi S	泌尿器科
日本化学療法学会誌	予防投与としての抗菌化学療法と創傷処置—根治的膀胱摘除術の手術部位感染予防—	高橋 聡	泌尿器科
Indian J Urol	Clinical outcomes of surgical treatment and longitudinal non-surgical observation of patients with subclinical Cushing's syndromoe and nonfunctioning adenocartical adenoma	Maehana T	泌尿器科
The Prostate	Claudin-4-targeted therapy using clostridium perfringens enterotoxin for prostate cancer	Maeda T	泌尿器科
J Urol	Gene expression profiles of prostate cancer stem cells isolated by aldehyde dehydrogenase activityassay	Nishida S	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Clin Oncol	Lymph node metastasis mapping in extended lymphadenectomy to the level of the inferior mesenteric artery for bladder cancer	Kitamura H	泌尿器科
Int J Urol	Upper urinary tract recurrence after radical cystectomy for bladder cancer: Incidence and risk factor	Takayanagi A	泌尿器科
Surg Sci	Clinicopathological analysis of patients with nonmuscle-invasive bladder cancer who underwent radical cystectomy	Nishiyama N	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol	A role for preoperative systemic chemotherapy in node-positive upper tract urothelial carcinoma treated with radical nephroureterectomy	Kitamura H	泌尿器科
泌尿紀要	尿路上皮癌に対する術前化学療法としてのGC療法 の近接効果に関する検討	進藤 哲哉	泌尿器科
泌尿器外科	BCG膀胱内注入療法後に膀胱内再発をきたした筋層非浸潤膀胱癌(NMIBC)の予後に関する検討	西山 直隆	泌尿器科
BJU Int	Natural history of lower urinary tract symptoms in Japanese men from 15-year longitudinal community-based study	Fukuta F	泌尿器科
Int J Urol	New technique with combination of felt, Hem-o-lok and Lapara-Ty for suturing the renal parachymal in laparoscopic partial nephrectomy	Masumori N	泌尿器科
Int J Urol	Status of sex reassignment surgery for gender identity disorder in Japan	Masumori N	泌尿器科
泌尿紀要	腹腔鏡下副腎摘除の検討	高橋 聡	泌尿器科
Allergology International 62(2);223-228, 2013	Localization and up-regulation of cysteinyl leukotriene-2 receptor in human allergic nasal mucosa.	Shirasaki H	耳鼻咽喉科
Allergology International 62(2); 239-244, 2013	Expression and localization of purinergic P2Y12 receptor in human nasal mucosa.	Shirasaki H	耳鼻咽喉科
Journal of Pediatric Surgery Case Reports 1(8) ;194-196, 2013	Solitary fibrous tumor of the head and neck in a child: Case report and review of the literature.	Ogasawara N	耳鼻咽喉科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
PLoS One 18;8(9), 2013	Curcumin prevents replication of respiratory syncytial virus and the epithelial responses to it in human nasal epithelial cells.	Obata K	耳鼻咽喉科
World J Med Surg Case Rep 2:21-25, 2013	Collision tumor of the thyroid: follicular carcinoma plus papillary carcinoma plus adenomatous goiter	Takano K	耳鼻咽喉科
小児耳鼻34(3), 2013	当科における先天性小耳症例の検討	小笠原 徳子	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床106 (1):41-45, 2013	肺大細胞神経内分泌癌扁桃転移例	計良 宗	耳鼻咽喉科
Strahlenther Onkol 2012;188:255-261.	The combination of hyperthermia or chemotherapy with Gimeracil for effective radiosensitization	Takagi M,	放射線治療科
J Appl Clin Med.Phys, 2012;13(2):3715.	Analysis of the optimum internal margin for respiratory-gated radiotherapy using end-expiratory phase assessments using a motion phantom.	Tateoka K,	放射線治療科
J Radiat Res, 2012;53(2):301-305.	Analysis of post-exposure density growth in radiochromic film with respect to the radiation dose.	Tateoka K,	放射線治療科
J Radiat Res, 2012;53(2):250-256.	Effects of depletion of dihydropyrimidine dehydrogenase on focus formation and RPA phosphorylation.	Someya M,	放射線治療科
Oncol Letters, 2012;4(1):151-155.	Analysis of Ku and XRCC4 expressions of hypopharyngeal cancer tissues and results treated with chemoradiotherapy.	Hayashi J,	放射線治療科
J Nucl Med Radiat Ther, 2012;34.	Assessment of similarity measures for accurate deformable image registration.	Tateoka K,	放射線治療科
J Radiat Res, 2013;53(4):615-619.	Uncertainty in patient set-up margin analysis in radiation therapy.	Tateoka K,	放射線治療科
Radiat Oncol, 2012;7:62.	The combination of olaparib and camptothecin for effective radiosensitization.	Miura K,	放射線治療科
J Radiat Res, 2013;54(4):679-683	Phase I study of oral S-1 and concurrent radiotherapy in patients with head and neck cancer.	Nakata K,	放射線治療科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Medical Physics, Clinical Engineering and Radiation Oncology, 2014	The reproducibility of patient setup for head and neck cancers treated with image-guided and intensity-modulated radiation therapies using thermoplastic immobilization device.	Nakata K,	放射線治療科
Int J Radiat Oncol Biol Phys (2012 May, 183(1): e67-73.)	Acute cardiac impairment associated with concurrent chemoradiotherapy for esophageal cancer: magnetic resonance evaluation.	Hatakenaka M	放射線診断科
Rheumatol Int (2012 Sep, 32(9): 2867-75.)	Evaluation of cartilage degradation in arthritis using T1ρ magnetic resonance imaging mapping.	Hatakenaka M	放射線診断科
J Magn Reson Imaging (2012 Sep, 36(3): 589-97.)	Pharmacokinetic analysis based on dynamic contrast-enhanced MRI for evaluating tumor response to preoperative therapy for oral cancer.	Hatakenaka M	放射線診断科
Jpn J Radiol (2012 Dec, 30(10): 840-5.)	Vascular measurement changes observed using postmortem computed tomography.	Hatakenaka M	放射線診断科
Clin Imaging (2013 Jan-Feb, 37(1): 56-61.)	Detection of axillary node metastasis using diffusion-weighted MRI in breast cancer.	Hatakenaka M	放射線診断科
Arch Gynecol Obstet (2012 Dec, 286(6): 1605-8.)	A myotonic dystrophy 1 patient complicated with placental adherence after miscarriage of one dichorionic diamniotic twin following her tenth in vitro fertilization and embryo transfer.	Tamakawa M	放射線診断科
Jpn J Clin Oncol (2012 Dec, 42(12): 1192-6)	A role for preoperative systemic chemotherapy in node-positive upper tract urothelial carcinoma treated with radical nephroureterectomy.	Tamakawa M	放射線診断科
Neurosurgery (2012 Jun, 70(2 Suppl Operative): 290-8.)	Delineation of the safe zone in surgery of sylvian insular triangle: morphometric analysis and magnetic resonance imaging study.	Shonai T	放射線診断科
Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi (2013 Jan, 69(1): 71-9.)	Evaluation of prototype for additional pad packing (polystyrene ball bullet) for homogeneously fat suppressed magnetic resonance imaging.	Shonai T	放射線診断科
Trends in Anaesthesia and Critical Care	Ultrasound-guided neuraxial block.	Yamauchi M	麻酔科
J Anesth	Pharmacokinetics and safety of 6 % hydroxyethyl starch 130/0.4 in healthy male volunteers of Japanese ethnicity after single infusion of 500 ml solution.	Yamakage M	麻酔科
Am J Emerg Med	Pralidoxime inhibits paraoxon-induced depression of rocuronium-neuromuscular block in a time-dependent fashion.	Narimatsu E	麻酔科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Anesth	Ultrasound-guided supraclavicular central venous catheterization in patients with malignant hematologic diseases.	Yamauchi M	麻酔科
J Anesth	Risk factors for gastric distension in patients with acute appendicitis: a retrospective cohort study.	Kimura Y	麻酔科
J Anesth	Ultrasound-guided and radiographic monitoring-assisted peripherally inserted central catheterization.	Edanaga M	麻酔科
J Anesth	Epidrum®: a new device to identify the epidural space with an epidural Tuohy needle.	A Sawada	麻酔科
J Anesth	Utility of longitudinal paramedian view of ultrasound imaging for middle thoracic epidural anesthesia in the older children.	Tachibana N	麻酔科
J Anesth	Heart rate variability during surgical abdominal manipulation under general and epidural anesthesia.	Hirata N	麻酔科
Med Equipments Insights	Clinical performance of a novel portable epocTM analyzer for arterial blood gas and electrolyte testing in operating rooms.	Sugino S	麻酔科
ICUとCCU 36(5), 327-334, 2012	ECMOの導入法と機器の選択	升田好樹	集中治療医学
ICUとCCU 36(8)、603-606, 2012	血液浄化療法施行中ALI/ARDS患者における腹臥位体位変換時のバスキュラー・アクセスに関する合併症の検討	升田好樹	集中治療医学
ICUとCCU 36(9)、671-676, 2012	集中治療領域におけるランジオロールの使用の現状と展望	佐々木英昭	集中治療医学
ICUとCCU 36(11), 1043-1047, 2012	集中治療における漢方薬の可能性	巽 博臣	集中治療医学
Am J Emerg Med. 2012; 30: 901-7	Pralidoxime inhibits paraoxon-induced depression of rocuronium-neuromuscular block in a time-dependent fashion.	Narimatsu E	高度救命救急センター
Neurosci Res. 2013; 75: 103-11.	Blockers of adenosine A1, but not muscarinic acetylcholine, receptors improve excessive extracellular glutamate-induced synaptic depression.	Narimatsu E	高度救命救急センター

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Crit Care Med. 2013; 41:1186-96	Extracorporeal cardiopulmonary resuscitation for patients with out-of-hospital cardiac arrest of cardiac origin: a propensity-matched study and predictor analysis.	Maekawa K	高度救命救急センター
Case Rep Neurol 2013; 5: 175-82	Malignant Hemispheric Cerebral Infarction Associated with Idiopathic Systemic Capillary Leak Syndrome.	Miyata K	高度救命救急センター
J Stroke Cerebrovasc Dis. 2013; 13: 106-7	Subarachnoid Hemorrhage after Resuscitation from Out-of-hospital Cardiac Arrest.	Miyata K	高度救命救急センター
Neurosurgical Emergency 2013; 18: 48-54	重症頭部外傷の集中治療管理—体温管理下における鎮静鎮痛管理の検討	宮田 圭	高度救命救急センター
神経外傷2013; 36: 52-59	日本頭部外傷データベースP2009における重症頭部外傷患者の集中治療—積極的体温管理下における鎮静鎮痛管理の検討.	宮田 圭	高度救命救急センター
J Oral Pathol Med. 2012 Dec 10. doi: 10.1111/jop.12028.	Silencing of GLUT-1 inhibits sensitization of oral cancer cells to cisplatin during hypoxia.	Shimanishi M	口腔外科
J Oral Maxillofac Surg, 2012, 70: 514-520	Clinical significance of computed tomographic assessment and anatomic features of the inferior alveolar canal as risk factors for injury of the inferior alveolar nerve at third molar surgery,	Ueda M	口腔外科
Pathology International, 2012, 62: 684-689	High expression of ALDH1 and SOX2 diffuse staining pattern of oral squamous cell carcinomas correlates to lymph node metastasis.	Michifuri Y	口腔外科
Head Neck Oncol. 2012 Jun 19;4:35.	Granulocyte colony-stimulating factor-producing squamous cell carcinoma of the lower gingiva: a case report.	Kobayashi J	口腔外科
Tongue: Anatomy, Kinematics and Diseases. 2012	Clinical and pathological features of squamous cell carcinoma of the tongue with special reference to cortactin and cyclin D1 expression.	Nakamori K	口腔外科
医学と薬学 2012 67:799-805	口腔悪性腫瘍	宮崎晃亘	口腔外科
北海道歯科医師会誌 2012, 67 : 7-11	東日本大震災での歯科医療支援—女川町での活動報告—	仲盛健治	口腔外科
北海道歯科医師会誌 2012, 67 : 65-67	当科における東日本大震災の歯科医療支援チームの活動報告	出張裕也	口腔外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Biol Markers 2012, 27: 39-46	Improvement and multicenter evaluation of the analytical performance of an automated chemiluminescent immunoassay for alpha fetoprotein.	Morota K	検査部
Br J Haematol 2013, 160: 359-362	Identification of autoantibodies expressed in acquired aplastic anaemia.	Goto M	検査部
J Immunol Methods 2013, 387: 312-316	Reconstructing a 3-dimensional image of the results of antinuclear antibody testing by indirect immunofluorescence.	Murai R	検査部
Leukemia Res 2013, 37: 89-92	Intracellular superoxide dismutase activity defines invasiveness of the murine T - lymphoma cell line L5187-ML25 in vitro and in vivo.	Tanaka M	検査部
Micro Drug Resist 2013, 19: 48-56	Characterization of PVL/ACME-positive methicillin-resistant Staphylococcus aureus (genotypes ST8-MRSA-IV and ST5-MRSA-II) isolated from a university hospital in Japan.	Kawaguchiya M	検査部
J Am Soc Echocardiogr 2013, 26: 165-174	Assesment of left atrial deformation and synchrony by three-dimensional speckle-tracking echocardiography: comparative studies in healthy subjects and patients with atrial fibrillation.	Mochizuki A	検査部
Microb Drug Resist 2013, 19:298-307	Characterization of Enterococcus faecium with Macrolide resistance and reduced susceptibility to Quinupristin/Dalfopristin in a Japanese hospital: Detection of extensive diversity in erm(B)-regulator regions.	Isogai N	検査部
In Vivo 2013, 27:611-616	Alteration of masticatory function by diet change induces stress responses in wistar rats.	Suzuki H	検査部
Infect Genet Evol 2013, 20: 381-388	Prevalence and genetic diversity of arginine catabolic mobile element (ACME) in clinical isolates of coagulase-negative staphylococci: identification of ACME type1 variants in Staphylococcus epidermidis.	Onishi M	検査部
Pathol Int 62, 2012	Detection of specific genetic abnormalities by fluorescence in situ hybridization in soft tissue tumors.	Miura Y	病理部
J Clin Pathol 65, 2012	Expression of claudins 7 and 18 in pancreatic ductal adenocarcinoma: association with features of differentiation.	Soini Y	病理部
Pathol Int 62, 2012	Establishment of a monoclonal anti-pan HLA class I antibody suitable for immunostaining of formalin-fixed tissue: unusually high frequency of down-regulation in breast cancer tissues.	Torigoe T	病理部
Cancer Res 72, 2012	HSP DNAJB8 controls tumor-initiating ability in renal cancer stem-like cells.	Nishizawa S	病理部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Clin Exp Pathol 5, 2012	An undifferentiated embryonal sarcoma of the liver containing adipophilin-positive vesicles in an adult with massive sinusoidal invasion.	Tanaka S	病理部
Diagn Pathol 7, 2012	NK/T-cell lymphoma of bilateral adrenal glands in a patient with pyothorax.	Tsukahara T	病理部
Pathol Int 62, 2012	Detection of HEY1-NCOA2 fusion by fluorescence in-situ hybridization in formalin-fixed paraffin-embedded tissues as a possible diagnostic tool for mesenchymal chondrosarcoma.	Nakayama R	病理部

小計 3

合計223

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。



(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	札幌医科大学附属病院長 平田 公一
管理担当者氏名	病院課長 白戸 昌義 / 医療連携・総合相談センター長 土橋 和文 / 薬剤部長 宮本 篤 / 医療安全推進部長 山下 敏彦 / 感染制御部長 渡邊直樹

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院課、各診療科、カルテ庫、各記録関係部科	病歴資料については、各診療科毎に作成し、カルテ庫で管理（一診療科一カルテ） エックス線写真については、各診療科とカルテ庫において保管管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	各診療科	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科	
	高度の医療の研修の実績	病院課	
	閲覧実績	—	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事センター	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院課及び薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十一の確項及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全推進部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全推進部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療連携・総合相談センター	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	業務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	業務課
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	業務課		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	業務課		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	北海道公立大学法人札幌医科大学理事長 島本 和明
閲覧担当者氏名	北海道公立大学法人札幌医科大学事務局企画管理部 総務課長 湯田 邦晴
閲覧の求めに応じる場所	北海道公立大学法人札幌医科大学事務局企画管理部総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	71.5%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A:紹介患者の数		12,801人
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数		9,721人
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数		776人
	D:初診の患者の数		22,865人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<p>・指針の主な内容：</p> <p>○「札幌医科大学附属病院における安全管理指針」 医療の安全管理に関する基本方針を定めるとともに院内の責任体制を明確にし、医療安全管理の具体的な推進方策について 9 項目を規定している。</p> <p>・H25 年 4 月 1 日 2-1「医療事故防止対策委員会」規程の改正（医薬品安全管理責任者を職指定委員に任命） 1 総則 2 医療安全管理のための組織体制 3 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 4 安全管理のための職員研修の実施 5 医療事故発生時の対応方法 6 患者相談窓口の設置 7 安全な医療を提供するためのマニュアル・ガイドライン 8 本指針の閲覧 9 附則</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況（平成 24 年度）	年 28 回
<p>・活動の主な内容：</p> <p>○医療事故防止対策委員会（定例）12回 医療事故の原因分析・再発防止策等の検討を実施 ○安全対策委員会（定例）12回 インシデントの原因分析・再発防止策の検討、マニュアル等の検討 *各検討結果を現場へフィードバックし、周知徹底を図っている ○リスクマネージャー連絡会議（定例）4回 インシデントの周知徹底を図り、注意喚起した (メール配信 32回 電子メール等による各リスクマネージャーからの問い合わせ又は意見提起、これに対する回答等、双方向の連絡、医療安全情報の配信)</p>	
① 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況（平成 24 年度）	年 18 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>○全職員を対象とした安全対策研修 年 5 回 (講演会 2、医薬品 1、トピックス 2) ○全職員を対象とした BLS・AED 講習会 年 6 回 ○その他医師、看護師・看護助手を対象とした研修会 年 7 回 (トピックス 5、KYT 2)</p>	
② 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)</p> <p>○「医療事故発生・発見時の対応について」(平成 14 年 11 月 1 日 病院長決定)により事故等の区分を 8 段階にレベル分けし、院内報告の仕方や取り扱いを明らかにするとともに、再発防止策の検討方法などを規程している。 H25. 4. 22「傷害レベル別フロー図」を改訂した。 現在別用紙で報告している医療事故報告書をシステム化し、「インシデント・アクシデント報告書」とすることを予定 (H25. 12 より実施予定)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>○医療安全確保のための業務改善計画書に基づく巡回点検の実施 昨年度も各部署において「業務改善計画書」を作成・提出させ、医療安全推進部長、GRM、医療事故防止対策委員が診療科等を巡回、当該計画書の実施状況を確認の上、状況に応じた指導を行った。今年度においては、昨年度に継続して全科に緊急事態発生時の対応についての取り組みを企画させ、さらに、診療・看護・中央部門においては患者誤認防止についての取り組みを、事務部門においては自部署で考えられる安全対策の取り組みについてそれぞれ企画させている。</p> <p>○医療安全推進週間の開催 昨年度も医療安全対策に関し、医療関係者の意識の向上、また、医療機関における組織的取組の促進などを図る目的で開催した。取組内容は、「医療安全講演会」「医療安全標語・ポスター・ステッカー募集」「医療機器トレーニング 人工呼吸器」「医療安全大賞」。今年も引き続き開催予定で、「医療安全講演会」「医療安全標語・ポスター・ステッカー募集」「予測・予防型安全対策研修」「いざというときの気道確保ハンズオントレーニング」「医療安全大賞」の企画を実施する予定。</p> <p>○昨年度、安全対策委員会において安全対策強化月間を設け、月毎にテーマを変えてポスターを作成し各部署に配付し、同委員会において各部署の巡回訪問を行った。その結果を踏まえ、今年度において「フルネーム確認・指差呼称確認DVD」を作製し、H25. 9. 20 全部署に配付した。</p> <p>○H25. 4. 18「侵襲的な検査・処置を受ける患者の誤認防止」マニュアルを策定し、ポケットマニュアルに貼付</p>	

<p>する訂正シールを全職員に配付した。なお、今年度中に安全対策委員会において実施状況調査を行う予定。 ○H25. 4. 25「抗凝固薬・抗血小板薬服用中の症例に対する検査・処置・手術の際の同薬剤中止に関する院内取り扱い指針」を改訂し、ポケットマニュアルに貼付する訂正シールを全職員に配付した。 ○H25. 10. 18「中心静脈ハズオントレーニング」を開催した。H26. 2にも開催予定。 ○医療安全対策マニュアルポケット版（第5版）発行に向けて、安全対策委員会で見直しを行っている。今年度中に改訂完了予定。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（3名）
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	（感染制御部所管）
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・所属職員： 専任（ 3 ）名 兼任（ 4 ）名 ・活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○附属病院における安全対策の総合企画・総合調整 ○事故発生報告書及びインシデントレポートに基づく事故原因の分析及び再発防止策の検討業務 ○再発防止策等について診療科・看護室等のリスクマネージャーを通じて現場への指導 ○再発防止策のマニュアル化及びその周知徹底 ○安全管理に関する最新情報をメール配信及びリスクマネージャー連絡会議、リスクマネジメントニュースの発行を通じて全職員へ周知徹底 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	（医療連携・総合相談センター所管）

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<p>・ 指針の主な内容： ○「札幌医科大学附属病院院内感染対策指針」</p> <p>札幌医科大学附属病院における院内感染対策に関する基本事項について、規定したものである。院内感染対策についての意識の向上に、資するものである。</p> <p>1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 院内感染対策のための管理体制・組織 3. 院内感染対策のための職員研修 4. 感染症の発生状況の報告 5. 院内感染発生時の対応 6. 患者等に対する本指針の閲覧 7. その他の院内感染対策の推進</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 48 回
<p>・ 活動の主な内容： ○院内感染防止委員会 (ICC) 定例12回 院内における感染情報、抗菌薬使用状況、コンサルテーション内容の報告。院内感染対策に関わる事項の審議と決定を、最高決定機関として行う。 ○Infection Control Team (ICT) 定例12回 院内における感染情報、抗菌薬使用状況、コンサルテーション内容の報告。院内感染対策に関わる事項の検討を、実働部隊として行う。 ○リンクドクター会議 定例12回 院内における感染情報、抗菌薬使用状況の周知をする。臨床現場における感染対策に関わる事項の情報収集と、具体策の指導を行う。 ○リンクナース会議 定例12回 院内における感染情報、手指消毒剤使用状況の周知をする。コンサルテーションに関する情報提供や、感染対策についての指導を行う。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 34 回
<p>・ 研修の主な内容： ○病院感染対策講習会 3回 全職員を対象とする。 ○清掃委託業者における病院感染対策講習会 2回 清掃委託業者全員を対象とする。 ○リンクドクター講習 12回 リンクドクターを対象とする。 ○リンクナース講習 12回 リンクナースを対象とする。 ○研修医への講義 1回 研修を受けた医師を対象とする。 ○新採用看護師への講義 1回 新採用された看護師を対象とする。 ○中途採用者への講義 3回 中途採用者全員を対象とする。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)</p> <p>○電話による直接連絡と「感染症発症連絡票」を用いて、患者や職員の感染症発生に関する報告を受けている。 ○検査部からの報告と感染対策ソフトで院内の菌やウイルスの検出状況を把握し、必要に応じて各部署の責任者等へ詳細報告を求めている。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： ○病院感染対策マニュアルや講習会情報を電子カルテ端末のSMILEへ掲載し、閲覧しやすくしている。 ○広報誌「CLEAN HOSPITAL」を発行し、院内における検出の情報や感染症についての注意喚起をしている。 ○当院における1年間の分離株薬剤感受性率表「アンチバイオグラム」をポケット版で作製し、抗菌薬の適切な選択をしやすくしている。 ○ICTメンバーによる病棟ラウンドを実施し、臨床現場の現状把握や改善内容の提案をしている。 ○大学事業として、学生や職員のウイルス性疾患（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎）の抗体価検査を、採血業務のみならず検査部と協力し円滑に実施している。 ○職員へのインフルエンザワクチン接種事業を、継続して感染制御部が所掌している。 ○PPEを適切に使用出来るよう、院内の必要ヶ所全てへPPEホルダーを設置した。</p>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>○平成24年度トピックス研修会（全4回） 「エビデンスに基づいた医薬品の安全管理・危機管理 ver.6」 講師：医薬品安全管理責任者、薬剤部長 「糖尿病治療薬の安全管理」 講師：第二内科講師</p> <p>○平成24年度医薬品・医療機器安全管理研修会 「医薬品・医療機器の安全管理-最近の医療安全トピックスを中心に-」 講師：医薬品医療機器総合機構 石井健介</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>○医薬品の採用・購入、医薬品の管理方法、投薬指示・調剤、患者への与薬や服薬指導、 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い（収集・提供）、他施設との連携</p> <p>○手順書に基づく業務評価</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>○ハイリスク薬の管理・取扱い：院内周知及び管理状況の確認</p> <p>○麻薬・向精神薬の適正使用の推進：重複処方等の調査・指導（四半期毎）</p> <p>○がん化学療法：プロトコール申請及びレジメン入力の実施、薬剤部でのミキシング</p> <p>○医薬品医療機器総合機構等からの通知：該当事例について検討し改善を図る</p> <p>○医薬品の安全使用のための手順書の業務評価に基づく改善策の実施</p>	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 15 回
・研修の主な内容： 個々の医療機器を適切に使用するための知識及び技能の習得又は向上を目的として、特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる医療機器に関して「有効性・安全性に関する事項」、「使用方法に関する事項」、「保守点検に関する事項」、「不具合が生じた場合の対応に関する事項」、「使用に際して、特に法令上遵守すべき事項」について、年2回、定期的に研修を実施している。 また、新たに導入した医療機器についても、機器導入時に同様の研修を実施している。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・計画の策定 (有・無) ・保守点検の主な内容： 平成19年3月30日付け厚生労働省医政局指導課長及び研究開発振興課長名通知に基づく7種類の医療機器のほか、高度医療機器及び患者に貸与している在宅用医療機器について、毎年度保守点検計画を策定し、当該計画に基づき保守点検を行っている。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・その他の改善のための方策の主な内容： 当院では、医療機器安全管理責任者を配置して、医療機器の安全使用のための安全管理体制を確保し、また、医療機器の添付文書や取扱説明書などの情報の整理及び管理を行うとともに、医療機器の不具合情報や安全情報等を機器製造者や販売業者などから収集し、得られた情報を担当者に適切に提供するなど、医療機器の安全使用に必要な情報の収集、改善のための方策を実践している。	